



収録台本

2022年1月前半号



TIME	内容
00:00	オープニング
屋外	<p>田村：あけまして、おめでとうございます。 お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕でございます。 さあ、今年もよろしくお願ひ致します。 今回はですね。新春号ということで 後藤市長もいっしょです、ヨロシクお願ひしま～す。 アハハ！</p> <p>市長本当にですね。昨年は、ホンマ大変な一年となりました。 え～、コロナとかいろいろとね、暗い話題になりがちですけども そんな中で、明るかった出来事とか話題とかあったりしましたでしょうか？</p> <p>市長：特にお互いスポーツ好きじゃないですか。</p> <p>田村：はい、大好きです。</p> <p>市長：スポーツ界でね、すごく感動もらった。 一番はね、あの二刀流。</p> <p>田村：おおー！</p> <p>市長：大谷亮平。</p> <p>田村：大谷翔平さんね！</p> <p>市長：翔平さん。</p> <p>田村：吹田が生んだスターね。</p> <p>市長：ああ。</p> <p>田村：大谷亮平さんは。</p> <p>市長：そうですね。山田西が生んだスター。</p> <p>田村：山田西が生んだ俳優のスターですから。 違いますよ。</p> <p>市長：大谷…。</p>

田村：出したい気持ちはわかりますけども

市長：大谷翔平の活躍はね。感動的でしたね。

田村：すごかったですね。

市長：僕もね。20年くらいピッチャーやってたんですよ。
で、ふと思い出したら。
ずっとクリンナップ打ってたんですよ。

田村：えー！！

市長：二刀流やないすか。

田村：ほう、そうですね、はい。

市長：それ嫁に言うたら返事してくれません。

田村：さすがに奥さん無視はやめといたげてください。
うんそうだね。ぐらいいいのでね。

市長：それからね。池江璃花子さん。

田村：ああ、池江さんも本当に奇跡の復活

市長：あれ、涙出ましたね。

田村：涙出ましたね。

市長：それとね。

田村：はい。

市長：キングオブなんちゃらというのがあったでしょう。

田村：キングオブコント。はい。

市長：ああ～、なんかようわからん二人組が、勝ってましたけど
何かあれも、まあまあオモロかったなあ。

田村：オモロかったんかい、おーい。

田村：おそろくやけど『空気階段』大好きでしょ。

田村・市長：ハハ、ハハハー！！

田村：吹田も負けてませんよね。

市長：うん、そうですね。

田村：去年に引き続き、こう熱い一年にしていくためにですね。
新春号は、すばらしい企画を用意しとります。

市長：えー！

田村：本当に今まで、前例のない。

市長：こういうの、お笑いで言うて最初にハードル上げるの
それホンマはやったらアカンやつでしょ。

田村：ハハハー！
大丈夫です。

市長：大丈夫ですか。

田村：今日はね、軽々と越えていきます。

市長：ああ、そうですか。

田村：こんなホンマに見たことないって言うぐらいすごいです。

市長：ああ。

田村：これはも、ぜひご期待ください。
まずは、こちらをご覧ください。

.....
<オープニングVTR>

ナレーション

吹田市は市内に6つの鉄道、16の駅がある「鉄道のまち」。

市民生活にとって鉄道は、切っても切り離せないものです。

今年の新春号はそんな鉄道について語りつくす30分！

題して「鉄道のまち吹田を語りつくせ！ 鉄道大集合スペシャル！」

VTR

まずは今回集まったツワモノたちをご紹介します！

吹田最古の駅「吹田駅」を有する関西鉄道界の雄「JR西日本」から
吹田総合車両所の中山さん。

顧客満足度、12年連続No.1 市内を南北に走る「阪急電鉄」から
淡路駅管区統括駅長の谷内（やない）さん。

鉄道物流で日本のライフラインを支える「JR貨物」から
吹田機関区 区長の浅倉さん

梅田、難波、天王寺にダイレクトアクセス！「北大阪急行」から
運転係長の田中さん

一本のレールで北大阪の各地を結ぶ「大阪モノレール」から
教習所課長 河内さん

そして、ええとこ吹田PR大使で鉄道ファンの斉藤雪乃さんにも
トークに加わっていただきます。

それでは、鉄道の街吹田を語りつくせ
鉄道大集合スペシャル！
スタートです！！

収録会場

＜本編＞

田村：さあ、というわけで始めました。
5社ね。みなさんに集まって頂きました。
よろしくお願いしま～す。

全員：よろしくお願いします。
（拍手）パチパチパチ。

田村：さあ、市長これだけのみなさん集まって頂くというのは、すごくないですか。

市長：いやあ、やっぱりね。「鉄道のまち」やいうのを実感しますね。

田村：そうですね。改めて感じますよね。

市長：いやあもう、日々こうしてね。

市に無断で車走らせてもうて、ホンマうれしいもんで。

田村：そんな言い方ないでしょ。

市長：ああ、いやいや。

田村：無断じゃないでしょ。

市長：言い方間違いましたね。

田村：言い方違いますよ。

市長：いやあ、本当ありがたい。

毎日絶やさず、電車を走らせるのは
そんな簡単やないですよ。

田村：これだけのね、人口を支えてくれてますから。

市長：ありがとうございます。

田村・市長・斉藤：よろしくお願いします。

田村：斉藤さんもよろしくお願いします。

斉藤：はい、お願いします。

田村：いかがですか、斉藤さん。

斉藤：私がまず、ここい居ていいのかと…。

もう今日は、一吹田市民。一鉄道ファンとして参加しました。

今日は、運転士さん・駅長さん・技術職の方
いろんな分野のプロが来てますから
楽しみです。

田村：ちなみに斉藤さん、僕も市長もそこまで鉄道に詳しくないので
この企画がこけるも成功するも斉藤さん次第という

トーク テーマ	<p>齊藤：待って、待って！ もう空転します。ブレーキかけてください。ちゃんと。</p> <p>田村：何卒よろしくをお願いします。</p> <p>市長・齊藤：お願いします。</p> <p>田村：さあ今回ですね。 いろいろなテーマに沿って、お集りの各社のみなさんから お話を聞いていこうと思います。</p> <p>まず、最初にテーマにいきましょう。 最初のトークテーマは、こちら 『ウチのええとこ聞いてって～！』</p> <p>全員：（拍手）パチパチパチ。</p> <p>田村：さあ、今回お集りのみなさまにですね。 自分の各社のええとこを発表して頂きます。 最初のええとこは、 『電車の種類が多い～！』 JR西日本さんでございます。よろしくお願ひ致します。</p> <p>JR西日本（中山さん） ：はい、よろしくお願ひいたします。</p> <p>田村：お願いします。 これは鉄道ファンは喜びますよね</p> <p>JR西日本（中山さん） ：はい、あのちょっと今回フリップで6枚紹介させてもらって いるんですけど 例えばこの…。</p> <p>田村：はい、齊藤さんこれはなんですか？</p> <p>齊藤：あっ…、「サンダーバード」。</p> <p>JR西日本（中山さん） ：ああ、正解ですね。「サンダーバード」です。 正面の形状がですね。2種類、大きく2種類ありまして。</p>
------------	---

田村：あっ、なるほど。

JR西日本（中山さん）

：こちらはあの、連結出来る方の…。

田村：いやあ、なんかしゃべっててもうれしそうですね。

JR西日本（中山さん）

：実は私も鉄オタなので、一応ファンなので。

田村：絶対そうですね。

めっちゃうれしそうに、紹介できる。うれしいっていう感情が
あふれてました。

JR西日本（中山さん）

：正直、もうこれ何分しゃべっていかなって思って…。

全員：ハハハー。

田村：もう時間を気にせず、しっかりしゃべってください。もう、はい。

JR西日本（中山さん）

：この下にあるのがですね、「はるか」。

田村：「はるか」ね。はいはい、なるほど。なるほど。

JR西日本（中山さん）

：そんで、こっちがですね「くろしお」です。

市長：かわいい

JR西日本（中山さん）

：和歌山方面に走る白浜アドベンチャーワールドとコラボした
「パンダくろしお」というものも走っておりますので。

田村：なるほど

これはやっぱり見かけたらテンション上がりますよね。
子どもも喜びそうですね。

JR西日本（中山さん）

：はい、他にもですね。ここ323系（サンニイサンケイ）。

大阪環状線を走っております。

田村：ああ、環状線かこれね。
なんか見たことあんなと思って。

JR西日本（中山さん）

：あと、こちらが227系（ニイニイナナケイ）と…。
あっ227系（ニヒャクニジュウナナケイ）と言いまして。

田村：いいですよ。227系（ニイニイナナケイ）で、
自分の言いたいやつでいいですよ。

JR西日本（中山さん）

：すいません。会社内の言い方ついつい使ってしまいました。

田村：ハハハー！

JR西日本（中山さん）

：このへんは、弊社の自慢の最新車両ということで。

田村：ほおー、新しんでんすか？
新しい車両には、どういうところがいいんでしょうか？

JR西日本（中山さん）

：やっぱり設備が綺麗ですし。
この227系でしたら、車内にですね。
ICOCA（イコカ）のタッチが出来るところがりまして。

田村：車内で！？

JR西日本（中山さん）

：車内でできるんです。
ローカルで走るのにワンマン対応というところをしておりますので
新しい設備というものを付けてきております。

田村：最新の技術が入ってるんですね。

JR西日本（中山さん）

：と言いつつ、この。

田村：これはちょっと古い感じがしますが、
なんかねアナログの良さっていう感じですけども、はい。

JR西日本（中山さん）

：これは国鉄の時代から引き継いだ古き良き車両で
これは113系というんですけど、こういった古い電車も
現役でバリバリ走らす、それが吹田総合車両所。

市長：めちゃくちゃうれしそうや。

田村：どう考えても一番好きでしょ。

全員：ハハハハ。

JR西日本（中山さん）

：そうですね。この中で一番私自身が担当することが多いのが
この113系なのでやっぱり愛着が。

田村：実際扱うことも多いんですね。

JR西日本（中山さん）

：そうですね。やっぱりここが強いなって

田村：だって明らかに顔。
もう一個一段階、表情が上がったから表情がうれしそうに。

市長：上った、上った。

田村：斉藤さんこれは全部乗ったことあるんですか？

斉藤：いやあ、もちろんですし、
今ご紹介頂いた車両。乗ってても見られるんですよ。
って言うのも、吹田・岸辺間乗ると車窓として吹田総合車両所が見えるんで。

田村：なるほど！

斉藤：運が良かったら、外からも見られますし。
定期検査もね、行われてるんで岸部間でこう試運転もしてますもんね。

JR西日本（中山さん）

：はい、その通りでございます。

田村：詳しいな。

全員：ハハハー。

斉藤：チェックしてます。

田村：なるほど、止まってるところを見れるのや！

斉藤：そうなんです。

田村：はい、じゃあどんどんいきましょうか。
もう多分ね時間がいくらあっても足りないでしょうけども…。

続いてのええとこでございます。

『世界初の自動改札！』

ええ、これは阪急さんでございます。
よろしくをお願いします。

阪急（谷内さん）
：よろしくをお願いします。

田村：えっ、世界初！！

阪急（谷内さん）
：はい。

田村：マジっすか！

阪急（谷内さん）
：はい、あのう、え～。今からですね55年程前。
1967年に千里ニュータウンの玄関口ということで
北千里駅を設けまして、その北千里駅に新しい街に相応しいということで
世界で初めて自動改札機とうものを設置致しました。

田村：ええっー！あっそうなんですか。

阪急（谷内さん）
：でその後、自動改札機の実績に、これを称えて頂きまして
世界的な電気学会、電子学会の方からですね。
表彰を受けて、その記念碑が、現在改札機の横に
あの記念碑として設置しております。

田村：ああそうですか。これを見るだけに行ってもいいぐらいですよ。

阪急（谷内さん）

：ああそうですね。値打ちがございます。

田村：へえ～。いや世界初は、ほんとにすごいですね。

もっと有名になってもいいぐらいのような気がしますけども

市長：もっと、もっとPRします。

田村：ハハハハ。

斉藤：市長、阪急さん唯一のものが
吹田市内にあるんですよ。

阪急（谷内さん）

：そうです。

田村：どういうことですか。阪急全部の中で？

斉藤：全部の中でも吹田にだけある。

阪急（谷内さん）

：千里トンネルと申しまして

場所は、南千里駅から山田駅の間にあります。

ナレーション

阪急電車のトンネルとしては
京都地下線に入っていく京都トンネルや
大阪メトロに接続する天神橋トンネルもありますが
土地と土地を貫いた、いわゆる「山岳トンネル」は
吹田にある千里トンネルだけなんです。

田村：あっ純粋なトンネルというのは、
本当に吹田に一箇所だけなんですか？

阪急（谷内さん）

：そうです。

田村：ああー。それは以外やなー！

市長：すんません。もうちょっと宣伝させていただきます。

田村：ホンマですよ。

全員：ハハハー。

田村：お願いしますよ。

市長：阪急さん、すんません。

田村：やっぱり吹田って、なんかすごいですね。

市長：ですね。

田村：しかもそんな山のイメージないのにね。

斉藤：確かに山ならね。

市長：山岳ですからね。

田村：山岳なんてあったって、一瞬思いましたけど
ああ、そうですか。これはなんかちょっと吹田が誇れる、ね。
一つのデータでございますけども。

さあ、どんどんいきましょう。

続いてのええとこ

『日本でウチだけ！貨物鉄道全国ネットワーク！』

JR貨物さんでございます。よろしくお願いします。

JR貨物（朝倉さん）

：よろしくお願いします。

田村：これは日本でウチだけとなってますけども
どういうことなんでしょうか？

JR貨物（朝倉さん）

：弊社はですね。一日400本以上の貨物列車が
全国、津々浦々走行しております。その距離は約19万キロ。
地球を一日5周分に相当しているような。

田村：マジですか、地球5周してんの。すごいですね。

JR貨物（朝倉さん）

：で、CO₂二酸化炭素の排出量につきましては、
トラックの13分の1というようになってるのが
当社の売りになっております。

田村：なるほど地球にも優しいと…。

JR貨物（朝倉さん）

：はい。

市長：もうゼロカーボン時代言われてますよね。

田村：はいはい…。

市長：これからその運輸部門で、どんだけCO₂排出量を減らすかというのを
世界で進めてるんですよ。

田村：はいはい…。

市長：例えば、船も飛行機もそうですよね。

その、トラック運送っていうのは、やっぱり運転も大変やし
排ガスも出るんで、もう一回貨物が見直されてますね。はい。

田村：まあ、ましてや本当にね、なんでもかんでも、もうね。
インターネットとかで買い物してっていうのが増えてますから。

JR貨物（朝倉さん）

：はい。

齊藤：需要は増えますよね。そんだけね。

市長：操車場からこう、コンテナ輸送になって。こうなんかトラックの時代が来て
もう一回ね、この元の吹田の姿に、日本中に戻っていくんやろなって。
元々ね、操車場の街ですから、吹田は。
これが、そもそも吹田が鉄道の街って言われる根っ子なんですよ。

田村：一番最初の根幹は、そこにあると。

市長：それとあの。阪急さんが、その北側に向かって街をつくった
その後、東西でモノレールさんが来て、万博で北急さんが来て…。
全部言ってしまうたかな…。

全員：ハハハー！！

田村：けっこう詳しいですね。

市長：いやいや、全然。あの雪乃（斉藤）さんに任せてますから。

斉藤：ある意味「てっちゃん」かもしれない。

田村：続いてのええとこ

『まるで飛んでいるみたい！絶景と乗り心地』。
ええ、こちらは大阪モノレールさんでございます。
よろしく申し上げます。

大阪モノレール（河内さん）

：はい、よろしく申し上げます。

全線高架軌道ということで、まあ当たり前ちゃ、当たり前なんですけど。
踏切は一切なくてですね。下も通常の鉄道さんの高架のような遮るモンも
一切ありませんので、かなり遠くまで見渡せる
この辺はちょっと自慢できるかなと思います。

あと、意外と知られてないのが、ゴムタイヤで走ってまして
台車がですね。普通の会社様ですと車輪が4つ付いている程度なんですけども
弊社の場合は、タイヤ10個ついてまして。

田村：ええー！

ナレーション

走るためのタイヤ、走行輪が4つ。
そして、横揺れを防止するための案内輪も4つに
カーブをスムーズに走らせるための
安定輪が2つ付いています。

田村：ミニ4駆のあのバンパーに付けるローラみたいなやつですか。

大阪モノレール（河内さん）

：ああそんなような感じのやつを縦に。縦長についてます。

田村：ああそうですか。

知ってましたか、それは斉藤さん。

斉藤：もうだから一両につき、タイヤが20個付いていることになりますから。

市長：20個！？

斉藤：すごい数で走ってるんです。タイヤ。

田村：そうですか。おもしろい。ありがとうございます。

さあ、続いてのええトコまいりましょう。

続いては、

『大阪万博成功の立役者』。

北大阪急行さんでございます。よろしく申し上げます。

北大阪急行（田中さん）

：よろしく申し上げます。

え～。弊社北大阪急行は、まあこのようにあの大阪万博の開催されるための輸送路として計画された…。

田村：そもそもはなかったということですね。

北大阪急行（田中さん）

：そうです。そもそもはなかった。

田村：大阪万博が開かれるから、そのためにつくった鉄道と。

北大阪急行（田中さん）

：そうです。

田村：ほー。

北大阪急行（田中さん）

：開催期間中、6400万人の入場者がおられたんですけれどもそのうちの4000万人を超えるお客様に当社乗って頂いたと…。

田村：半分以上が乗られたと。

うわあ！人・人・人。もうコロナの昨今から見たらもう違和感しかないですね。

北大阪急行（田中さん）

：今じゃ、なかなか見られない光景かもしれないですね。

田村：考えられないっすよね。この写真。

すごいなあー。

	<p>田村：やっぱりどうなんですか？ 万博から出来たっということ、なんか縁は、今も残っているんですか？ その名残は？</p> <p>北大阪急行（田中さん） ：今現在の、千里中央駅の少し手前に、万博の中央口へ向かう トンネルの跡がまだ残っております。</p> <p><u>ナレーション</u> 1970年大阪万博の開催期間中は 今ある千里中央駅の手前あたりから、東方向に向きを変え、 現在の中国自動車道、中国吹田料金所のあたりまで 線路が伸びていたんです。</p> <p>北大阪急行（田中さん） ：元々この万国博中央口駅というのは、 今の中国自動車道の上に、あの元々あった駅なんですけども…。</p> <p>田村：あ、じゃあ今も電車に乗ってれば、その景色が見れるってことですか？</p> <p>北大阪急行（田中さん） ：そうですねあのう、 すごくあの、一瞬しか見えないんですけども トンネルの跡がよく目を凝らして頂けると、あの見えるかと…。</p> <p>田村：一瞬やからこそ、また見たいですね。 ええ～…。</p> <p>.....</p>
VTR	<p><VTR 吹田の車窓から> <u>ナレーション</u> ここでちょっと一息、北大阪急行田中さんおすすめ 車窓風景をお楽しみください。</p> <p>.....</p>
収録会場 トーク テーマ	<p>田村：続いてのトークテーマ。 『実は、こんな事もやってます！』</p> <p>全員：（拍手）パチパチパチ。</p> <p>田村：まずは、ですね。『荷物だけじゃない！電車も運びます！』 JR 貨物さん、よろしくお願い致します。</p>

JR 貨物（朝倉さん）

：はい、当社はですね。コンテナというイメージが強いかと思うんですけども。

田村：あります。はい。

JR 貨物（朝倉さん）

：コンテナ輸送だけではなくてですね。メーカー様でつくられた新車。いわゆる新制電車をですね。貨物列車の機関車でですね。運んでおります。

田村：ええーっ。自走したらええやん！！

JR 貨物（朝倉さん）

：いろいろありましてそこは、あの…。

田村：ですよ。

JR 貨物（朝倉さん）

：手続き上の話でございまして、ちょっと自走は出来ないような

田村：ルールが決まってるんですか、この区間しか走ったらアカンとかて言うのは。

JR 貨物（朝倉さん）

：まだ、正式な車両としてですね。あのう…。登録されていないものなんで…。

田村：なるほど。

JR 貨物（朝倉さん）

：貨物列車の車両という形で運ばして頂いております。

田村：なるほど。この時は、荷物なんだ！これが！

JR 貨物（朝倉さん）

：荷物といったら失礼なんですけれどもそうですね。荷物ですね。

田村：まあ、運ぶものなんですね、ようは…。

市長：貨物線なんですよ。

田村：はいはい、なるほど。その決まってるんですね。

市長：電車が貨物線走ったら多分アカンのですよね。

JR 貨物（朝倉さん）

：いやあ、まあそんなことはないです。

田村：違うんかえ。

市長：すみませんね。

田村：メチャクチャどや顔で入ってきたやん。
ちょっと今の絶対使って、何回も！

斉藤：いやいや貨物愛があふれてましたよ。
ハハハ。

市長：貨物になると、ちょっとね。

JR 貨物（朝倉さん）

：ありがとうございます。

田村：貨物の熱量がすごいですね。

市長：そうそう、貨物押しなんです。

田村：ハハハッ。 あのオレンジのあれで引っ張るんですか？

JR 貨物（朝倉さん）

：そうですね。あちらの機関車の方で、けん引しております。
例えば、あちらですと南海電鉄さんの車両になるんですけども、
あちらの方を…。

田村：あっ、JR のんじゃなくて南海の電車も運ぶんですか？

JR 貨物（朝倉さん）

：はい。あちらの車両、南海電鉄さんの新制車両ということで。
運ばして頂いております。

田村：ええー！

市長：おおーっ。

斉藤：南海さんは、線路幅が、いっしょなんですよ。

田村：JRと南海が線路幅がいっしょ。

斉藤：はい！だからあれを運べる。

田村：斉藤さん、ああいう新車が運ばれているとかいうのは
鉄道オタクからすると、どうなんですか？

斉藤：ああ、もう待ちにまった日です。

田村：ああ、もうたまらなくていい感じですか？

斉藤：だって、まだデビュー前なんですよ。

田村：はい。

斉藤：もうピッカピカ。ステレンスも輝きが違うんですよ。

田村：無茶苦茶伝わってきました。
あのほんとに中山さんと同じ表情してたんですよ。

全員：ハハハハ！！

田村：て言いか、斉藤さんがしゃべってるのを聞くのを
うれしそうだったんですよ。

全員：ハハハハ！！

田村：友達が居たっていう。

じゃあ、続いていきましょう。

続いては、『電車の改造が得意です』

こちらはJR西日本さんでございます。

よろしくお願いします。

JR西日本（中山さん）

：JR西日本はですね。たくさんの車両を改造ということをしています。

田村：改造？ということなんでしょうか？

JR西日本（中山さん）

：古くなった電車をですね。その時々求められるニーズに合わせて車両をバージョンアップという形で改造をずっと重ねてきました。

田村：はい、今これ出ているのは？

JR西日本（中山さん）

：つい最近デビューしました「ウエスト エクスプレス銀河」という車両でして

田村：銀河！

JR西日本（中山さん）

：はい、元はですね。新快速として使用していた117系がですね。新快速としては退いて、地方で走っていたんですけどもこの度ちょっと、この形で観光列車というところに改造させて頂きました。

田村：はあ～。なんか特にこだわった部分とかあるんですか？

JR西日本（中山さん）

：やっぱりですね。ぬくもりがあるとか…。

田村：中がウッドになっててね、ぬくもりがあるとか…、はい。

市長：なんかその内装の話で言うと、阪急さんはね。

阪急（谷内さん）

：はい。

市長：京都に行くのに。

阪急（谷内さん）

：はい。

市長：特別な電車ありますけど、私乗ったことないんですよ。まだね。

阪急（谷内さん）

：「雅洛」と申しまして、もともとありました7000系という車両を改造して乗った時から、京都を、観光気分を味わっていただけるような。

田村：もう車内から！

阪急（谷内さん）

：はい。大改造をしました。

田村：もう、旅館みたいになってますやん。

市長：電車に見えない。

田村：ねえ！すごいな、これ！

阪急（谷内さん）

：こういった内装にも関わらず、まあ料金は頂かずに
普通の運賃そのまま、ご乗車頂けるようにしております。

田村：同じ料金で、はあ～。

あの先程、写っていた二人も、たまたま居合わせた二人ですか？

阪急（谷内さん）

：いえいえ、あのお願いした…。

市長：そこ別に聞かんでええしね。

田村：ちゃんと突っ込みも出来る。

ハハハハ！

斉藤：車両で言うと、大阪モノレールさんもすごいです。

田村：ああそうですか。

斉藤：ラッピング車両の数は多いですね。

田村：ラッピング！

大阪モノレール（河内さん）

：そうですね。ええ弊社今、22編成！在籍しているんですけども。
その内、今9編成、ラッピングということで。
フルラッピングも、パートラッピングも、まあいろいろあるんですけども。

田村：目立ちますもんね。モノレール走ってたら。

見届けますよね。なんかモノレールが走ってるのってね。

市長：いやあ、あのう。コロナで大変な状況にある医療関係者の人をこうエールを送ろうっていう。まあそういう企画をいっしょに頂きまして、さして頂きまして、実は走ったのが後ろにある…。

田村：こちら。

市長：タペストリー。
はい、「ブルーエール号」って…。

田村：「ブルーエール号」？

市長：はい、エールを送るんです。

田村：応援ですね。

市長：ほいでね。このハートのところあるでしょう。

田村：はいはい、ありますね。青いハートが。

市長：ハッキリ字写ってるでしょう、これ。

田村：ありますね。なんか書いてますね。

市長：一個一個のハートに、字書いてあるん。

田村：手書きの文字じゃないですか。

市長：めっちゃめっちゃうまい字やな。

田村：ええ、絶対に市長の字やな。

市長：ああそうです。

全員：ハハハハ！！

田村：はい、さあいろいろ出てきますけれども
続いて、北大阪急行さんは？

北大阪急行（田中さん）

：ええっと。弊社はですね。今ちょっとコロナで、あのう見合わせてるんですけども…。

7月に七夕列車。それから12月にクリスマスフェスタということで
終点の千里中央駅に一編成を一日中、止め置いて。

田村：はい。

北大阪急行（田中さん）

：その車内で、いろいろなイベントを行っている。

田村：これは、ホームに止まっているということですか？

北大阪急行（田中さん）

：ああ、そうですね。

田村：じゃああ、実際に車内楽しんで、その後に自分の仕事のために
電車乗って移動するとかも可能なんすか？

北大阪急行（田中さん）

：も、可能ですし…、そのイベントのためだけに入って頂くということも…。

田村：あっ、可能なんですか。

おもしろいですね。なるほど。

ナレーション

ちなみに昨年は、新型コロナの感染拡大防止のため
駅でのイベントに代えて、ウェブで募集した「願いごと」の短冊を
車内に吊り下げて運行しました。

田村：さあ、じゃあ、どんどんいきましょう。

続いて、『テスト勉強も応援します』

これは？

大阪モノレール（河内さん）

：はい！

田村：よろしくお願ひします。大阪モノレールさん。

大阪モノレール（河内さん）

：ちょっと倒れましたすいません。

田村：あっ、ちょっと取りにくそうな…。

大阪モノレール（河内さん）

：はい、非常に取りにくいです。

田村：ああ～。あっこれは、奇跡の瞬間です。

市長：ああ、もう連携！連携！

田村：鉄道の各社の垣根を越えて、助け合っております！！

全員：ハハハハ。

田村：どうぞ撮ってください！奇跡の瞬間です。

大阪モノレール（河内さん）

：すみません。

田村：ありがとうございます。

大阪モノレール（河内さん）

：あのう、弊社。お家のラウンジというような感覚で楽しんで頂ける、寛いで頂けるという。

田村：全然知らずに乗った方は、最初ビックリするでしょうね、これね。

ナレーション

大阪モノレールでは、ドリンクコーナーを設置した「モノドリンク」や寛ぎの休憩スペース、「モノラウンジ」を全駅に設置しています。

大阪モノレール（河内さん）

：電車を待つ間でなくてもですね。テスト勉強とかで改札にちょっと入らせてくださいという形で、勉強もして頂くようなスペースを設置させて頂いてます。

田村：なかなか勉強する場所をね。困っている人いますからねえ。

斉藤：あれですか？入場券っていうのは？

大阪モノレール（河内さん）

：あのう、弊社、入場券を設置、用意しておりませんのでそのまま改札口で…。

	<p>田村：えっ！言えば！？</p> <p>大阪モノレール（河内さん） ：あのう、言っていたら、はい。 そのまま入っていただけるように…。</p> <p>市長：しかも飲み物全部タダやって。</p> <p>大阪モノレール（河内さん） ：タダではない…。</p> <p>全員：ハハハッハ！！</p> <p>田村：ちょっとー！ 止めてくださいよ。 ホンマにー！</p> <p>大阪モノレール（河内さん） ：そこだけはちょっと…。</p> <p>田村：貨物の肩入れはすごいから。 モノレールの時、邪魔してるやん！</p> <p>全員：ハハハッハ！！</p> <p>市長：いやいや。</p> <p>田村：へえ、おもしろいですね。 ありがとうございます。</p> <p>.....</p>
VTR	<p><VTR 吹田の車窓から> <u>ナレーション</u> またまた、ちょっと一息、斉藤雪乃さんおすすめの 大阪モノレールからの車窓風景をお楽しみください。</p>
収録会場 トーク テーマ	<p>田村：続いてのトークテーマは、 『教えて！〇〇さん！』</p> <p>全員：（拍手）パチパチパチ。</p>

田村：さあ、鉄道を利用してですね。気になる疑問を解決して頂こうということで市長、何か疑問があるということですけど。

市長：いやあ、これはね、多分みんなそう思ってると思うんですけど。電車こうあるでしょ。運転席が片っ方寄ってるでしょ。

田村：はい、はい、はい。

市長：で、線路ここやったら、真ん中におんのが一番ええんちゃうのかなと思って。

田村：なるほど。さあ、この質問はですね。JR貨物の朝倉さんにお答え頂きます。お願いします。

JR貨物（朝倉さん）

：はい、ええっと、鉄道というのはですね。明治の時代にですね。イギリスから輸入をされております。

田村：イギリスから。

JR貨物（朝倉さん）

：はい、イギリスのシステム全てをですね。導入しましたので、その当時イギリスがですね左側運転台ということでやっておりましたので、日本もなってですね。左側運転台が定着してですね。現在多くの会社さんがですね、左側で統一されております。

田村：はあ～っ。たまたま最初イギリスがそうやったからってだけなんですか？

JR貨物（朝倉さん）

：はい、という説が一番強いというふうに…。

田村：ああ、なるほど。

JR貨物（朝倉さん）

：で、また信号機等も左側に、建植されてますんで…。

田村：はい。

JR貨物（朝倉さん）

：左側の運転台の方が、左側なんで見やすいという。

田村：…のが、見やすいと。

はあ、理にもかなってるし。

イギリスからそのまま持ってきたからじゃなかろうかと。

JR 貨物（朝倉さん）

：そうですね。

市長：歴史ですね。

田村：歴史ですね。はい。

斉藤：あのう、大阪モノレールさんは、右側に付いてるんです。

田村：あれ？ああ…。

だいぶ遅めに上がってきましたね。

大阪モノレール（河内さん）

：はい。弊社は一応、右側に運転台ございまして。

田村：はい、はい。それまた理由があるんでしょうか？

大阪モノレール（河内さん）

：はい、弊社の場合。

信号機っていうのは、地上に置けませんので。

レール一本だけですので…。

新幹線とかですね、と同じく車内信号と言いまして。

スピードメーターの周りに、指示速度が出る。

赤・青・黄色の信号じゃなくて、時速何キロで出なさい、出しなさいっていう信号が出るんです。

田村：なるほど車内であるんですね。

はい、はい、はい。

大阪モノレール（河内さん）

：ですので、あまり関係なくてですね。

あとはあの、弊社ワンマン運転ですので、

立って車掌さんの役もせんとあかんと…。

もうそのまま、右側に立っとけば、立ってすぐにドアの開け閉めも…。

田村：なるほど。

大阪モノレール（河内さん）

：ということで右側に運転台付けさせて頂いてます。

田村：左と右しかないんですか？

真ん中はないんですか？

JR貨物（朝倉さん）

：どうでしょう。あるんでしょうかね？

斉藤：ありますね。近鉄の特急「ひのとり」は、やや真ん中です。

田村：やや。

斉藤：やや真ん中にあります。

田村：ほんのり。

斉藤：はい。ほんのり真ん中です。

田村：それもまた聞いたらなんか理由あるんですかね。もしかしたら…。

市長：ねえ。

田村：確かに言われてみれば偏ってますよね。

さあ、市長。疑問は解決しましたか？

市長：いやあ、解決しました。

田村：おお、すばらしい。ありがとうございます。

市長：ありがとうございました。

田村：さあ、僕も一つ質問がございまして。

あのね。運転中トイレに行きたくあることあると思うんですよね。

さあ運転士さんが、運転中トイレに行きたくなったら、

どうしているのか？大阪モノレール河内さん、教えてください。

大阪モノレール（河内さん）

：ええ、弊社の場合は、終端駅に実は、運転士用のトイレ用意しております

田村：なるほど。端までいけばあると…。

大阪モノレール（河内さん）

：端までいけばとりあえず…。

通常、運転士の交代、万博記念公園で、行ってますので。

まあ、そこまで我慢するか

あとは、どうしても体調不良であかんかったら、

どこの会社さんもそうやと思うんですけど、列車無線で交代を要請して。

田村：人の体のことですからね。無理して何かあったらいけませんから。

大阪モノレール（河内さん）

：だから、乗務の何分か前には、もう水分取らないとか…。

田村：ちなみに河内さんは？

大阪モノレール（河内さん）

：何度かあります。

田村：何度かっ。ハハハハ。

市長：おおっ。

田村：いろんな苦勞がありますよね。やっぱりね。

はい。さあ、あっという間にエンディングでございます。

市長いかがでしたか？

市長：いやあ、あのね。改めて「鉄道のまち」いうのを実感しましたね。

田村：そうですね。これだけの会社が乗り入れててね。

これだけ話しが出てくるんですから…。

市長：数えたら。利用している駅って21あるんです。

田村：ええ～。

市長：例えば、千里丘の駅って摂津市ですよ。

宇野辺は、茨木市ですよ。ほんで緑地公園って、豊中市でしょ。

田村：豊中ですよ。はい。

市長：そういうふうに歩いて、行けるとこって

全部合わせたら吹田市民21駅使えるんですよ。

市長：そこにバスが走ってるでしょう。
やっぱりね交通の便利さっていうのは、やっぱりすごいですね。
ありがたいですね。

田村：まあ直結してますよね。生活とね。

市長：それとね。定時運行。それぞれに基準持つてはるはずですよ。
何分以内に、いや何秒以内にですよ。

田村：多分そうですよね。秒単位ですよ。

市長：それを毎日ね。365日やって頂いてるというのは、本当に。
それがイコール安全面も保障してるんですよ。
そういう運営の仕方があって、本当にありがたい思います。

田村：本当にありがたいですよ。
さあ、斉藤さんいかがでしょうか？

斉藤：はい、改めて。さすが「鉄道のまち」吹田だなと…、感じました。
この歴史のある過去・現在・未来へと、
こう線路がどこまでも繋がっていくような感じがして
いつまでも走り続けて、ほしい活躍してほしいなと
思いました。

市長：うまい。

田村：どんだけきれいなコメントや

全員：ハハハハ。

市長：うまいなー！

斉藤：気付きましたやっぱり。

田村：なかなかこれだけ集まって頂くということはないかと思えますけども
また今後とも、事あるごとに集めますので、よろしくをお願いします。

全員：ハハハハ。

田村：はい、というわけで、みなさんありがとうございました。
今回の放送はここまででございます。

田村：ええ今年も一年、がんばりますので
よろしくお願ひ致します。
というわけで、今回は以上でございます。
ありがとうございました。

ナレーション

ここまで楽しんで頂けましたか？
最後に、後藤市長から新年のご挨拶です。

.....
<VTR 市長新年のご挨拶>

ええ、みなさん。
あけましておめでとうございます。
昨年は、いろいろありました。
あのう、みなさん。コロナでは大変な目におあいになったと
思いますし……。今もその状況が続いています。
これから先、はっきり出口は見えませんが
希望を持って、この2022年。迎えたいと思います。
こっからいろんなことを、外に出にくいとか、
それが続くかもしれませんけど。中は充実していきたいなと思ってます。
しっかりとお誘いしていきたいと思いますので
今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

.....
<トリキリ CG 次回の告知>

ナレーション

吹田市広報番組
お元気ですか！ 市民のみなさん
次回の更新日、内容は
ご覧の通りです。次回もぜひ、ご覧ください。

(終わり)